

平成 30 年度研究プロジェクト研究概要報告

研究種別	■自主研究 4	公益目的事業 16
主査名	岩尾詠一郎 専修大学商学部教授	
研究テーマ	ライフスタイルの変化にともなう新たな物流サービス実施のための条件に関する研究	
研究の目的： 近年の少子高齢化による、過疎化問題や高齢者の介護問題や医療問題、生活の 24 時間化、国際化、ICT 化などにより、人々のライフスタイルが変化している。この少子高齢化、生活の 24 時間化、国際化、ICT 化は、小口貨物の多頻度輸配送の増加等の物流サービスに影響を与えることがある。そのため、ライフスタイルの変化により、新たな物流サービスが必要となる場合もある。このとき、新たな物流サービスを実施する場合に必要な条件を明らかにしていく必要がある。 そこで、本研究では、具体的な新たな物流サービスの実施事例から、ライフスタイルの変化にともない必要となる新たな物流サービスを実施するときに必要な条件を明らかにする。		
研究の経過（4 月～3 月）： 本研究では、まず、社会変化が物流に与える影響を示すとともに、ライフスタイルの変化に影響を与える社会構造の変化と情報技術の進展について、既存のデータや資料をもとに整理した。 次に、本プロジェクトで検討する新たな物流サービスの事例を示すとともに、これらの新たな物流サービスとライフスタイルの変化との関係性の検討方法を示し、類型化した。 そして、先に示した新たな物流サービスを実施可能な地域（①大都市、②地方都市、③中山間地域）別に分類し、地域ごとに分類された新たな物流サービスについて、実施事例から「新たな物流サービスの特徴と課題」を明らかにし、「新たな物流サービスを実施するための条件」を示した。		
研究の成果（自己評価含む）： 本研究を通じて、①消費者のライフスタイルの変化に影響を与える社会構造の変化と情報技術の進展の実態、②ライフスタイルの変化に応じた新たな物流サービスの類型化、③地域（大都市、地方都市、中山間地域）別に、実施事例をもとにライフスタイルの変化に応じた物流サービスを実施するための条件を明らかにすることができた。		
今後の課題： 今後の課題としては、地域別に新たな物流サービスの成立要件を、消費者の物流サービスに対する要求と、物流事業者が提供する物流サービスとの関係性をもとに明らかにする必要がある。		